



学校だより

# いちいの木

学校教育目標

「ふるさと 富士山に 学ぶ子」

重点目標 「いっしょに  
一生けんめい」

小山町立須走小学校

令和3年2月号

## 「率先垂範」…大人の役割

校長 青木 元広

私の好きな言葉の一つにこの「率先垂範」があります。本校の職員には常日頃この言葉を使って、話しているところ

です。子どもを教え導く立場である教職員が、いかに子どもたちに接し、指導するかは、この「率先垂範」の精神が何より大切であると考えるからです。

一方、どんな生き物でも、生まれて真っ先に見るものは親であり、社会性身に付ける第一歩は、まずは親の姿からであると思います。学校においては、教員が率先垂範する姿を見せると同時に、御家庭においては、お父さんお母さんが、人としてのあるべき姿を見せてあげてください。その姿を見ながら子どもたちは育っています。

彼の山本五十六は次のような言葉を残しています。

「やって見せ、言って聞かせて、させてみて、褒めてやらねば、人は動かじ。」

さらに、次のように続きます。

「話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。」

「やっている、

姿を感謝で見守って、  
信頼せねば、  
人は実らず。」



とかく大人の私たちは、大人の論理で、上から目線で子どもたちに命令しがちです。しかし、そういった態度では子どもの心に訴えることはできず、まして子どもを動かすことや、育てること、そして、人として実らせることはできないということなのです。相手が大人であれ、子どもであれ、相手に敬意を払わないと動いてくれないという重い言葉です。ぜひとも、子どもたちに背中で教えられるように、学校でも、御家庭でも頑張りましょう。

現在学校で一番力を入れていることは、「あいさつ」と「黙働」です。

登校時には、かなり遠くから「おはようございます。」と元気な声を出してくれる子が大勢います。そして、子どもたちは朝八時の始業と共に、それぞれの分担当所で黙々と掃除をしています。おしゃべりの声はほとんど聞こえません。学校中がシーンとした中で、掃除の音だけが心地よく耳に届いてきます。

このような活動も、教職員の率先垂範で指導していきます。学校を磨き、子どもたちの心を磨きながら、今の学年が「有終の美」を飾れるように願いつつ、励ましていきましょ。



## 写真で見る1・2月

### ★1月15日「6年生修学旅行 2回目」



### ★1月27日「給食員さんに感謝する会」



### ★1月26日・28日・2月2日「参観日」



## お知らせとお願い

2月17日(水)には『金管引継ぎ式』が、26日(金)には『卒業を祝う会』が予定されています。例年は保護者の方にも参加をしていただいていたのですが、現在のコロナウィルスの感染状況及び、感染の拡大を防ぐために、本年度は児童のみで行わせていただきます。御理解と御協力をお願いします。